

N8503-36/36A セットアップ補足手順書

本書は、N8503-36/36A のセットアップの際に EXPRESSBUILDER の REVISION の違いによる
セットアップ方法の違いを補足するものです。
セットアップの際、誤って旧ドライバ、旧ユーティリティを使用してしまった場合は、
本書の最初に戻って再度セットアップしてください。

目次

第1章	アレイのコンフィグレーションについて	2
第2章	WindowsNT ドライバインストール手順	4
2.1	WindowsNT 4.0 ドライバインストール手順フローチャート	4
2.2	ディスクレイコントローラ配下に WindowsNT 4.0 をインストールする際の注意事項	5
2.3	WindowsNT 4.0 インストール後にディスクレイコントローラを実装する場合	5
第3章	NetWare ドライバインストール手順	6
3.1	NetWare ドライバインストール手順フローチャート	6
3.2	ディスクアレイコントローラ用ドライバを新規にインストールする場合	7
3.3	NetWare をインストール済みのサーバにデータボリューム用として増設する場合	8

第1章 アレイのコンフィグレーションについて

EXPRESSBUILDER を使用してセットアップをされる前に、CD-ROM レーベルの REVISION をご確認ください。

- REVISION:020 以降であれば、通常どおり「ユーティリティセットアップガイド」を参照してセットアップを行ってください。
- REVISION:019 以前のバージョンが添付されている装置はサポート対象外です。また、REVISION:020 以降が添付されている場合でもサポート対象外の装置がありますので、ご使用になる前にご確認ください。
- なお、EXPRESSBUILDER を使用せずにコンフィグレーションする場合は、以下の手順に従ってコンフィグレーションしてください。(作業用として3.5"2HDの空きフロッピーディスクを2枚ご用意ください)

1. EXPRESSBUILDER CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして Express サーバを立ち上げ、EXPRESSBUILDER を起動してください。
2. 「カスタムセットアップ」の“サポートディスクの作成”を選択してください。
3. メニューの“MS-DOS 起動ディスク”を選択して、画面の指示に従い、MS-DOS 起動ディスクを作成してください。
4. メインメニューから“終了”を選択し、MS-DOS コマンドプロンプトが表示されましたら、次のコマンドを入力してください。
A> DISKCOPY A: A: /M (斜体字を入力して ENTER キー押下)
5. 次のメッセージが現れますので、本ボード添付の「DAC960 MS-DOS Utility」媒体をセットし、何かキーを押してください。
ドライブ A に送り側ディスクを入れてください。
続けるにはどれかキーを押してください . . .
6. 次のメッセージが現れますので、空きフロッピーディスク (Backup ディスク) をセットし、何かキーを押してください。
ドライブ A に受け側ディスクを入れてください。
続けるにはどれかキーを押してください . . .
7. 以降、項番 7 . 項番 8 . を繰り返し、次のメッセージが現れたら ‘N’ キーを押してディスクコピーを終了します。
別のディスクをコピーしますか [y/n] ?
8. EXPRESSBUILDER CD-ROM を取り出し、項番 3 . で作成した MS-DOS 起動ディスクをセットして Express サーバを再立ち上げしてください。

9. 再起動後、MS-DOS コマンドプロンプトが表示されましたら、次のコマンドを入力後、‘ Y ’ キーを押して環境を変更してください。
A>*SWITCH* (斜体字を入力して ENTER キー押下)
10. 項番 4 . ~ 7 . で作成しました Backup ディスクをセットして次のコマンドを入力してください。
A>*DACCF* (斜体字を入力して ENTER キー押下)
11. ディスクアレイコンフィグレーションユーティリティが立ち上がりますので、基本処理装置に添付されている「ユーティリティセットアップガイド」を参考にしてディスクアレイの設定を行ってください。
12. ディスクアレイの設定終了後、MS-DOS プロンプトに戻って *COMMAND.COM* がないとエラーメッセージが表示されたら、項番 3 . で作成した MS-DOS 起動ディスクをセットして何かキーを押せば処理を続行できます。ここで、再び *EXPRESSBUILDER CD-ROM* をセットして Express サーバを再起動させてください。
13. 以降は、「ユーティリティセットアップガイド」を参照して、“簡易セットアップ”を実行してください。

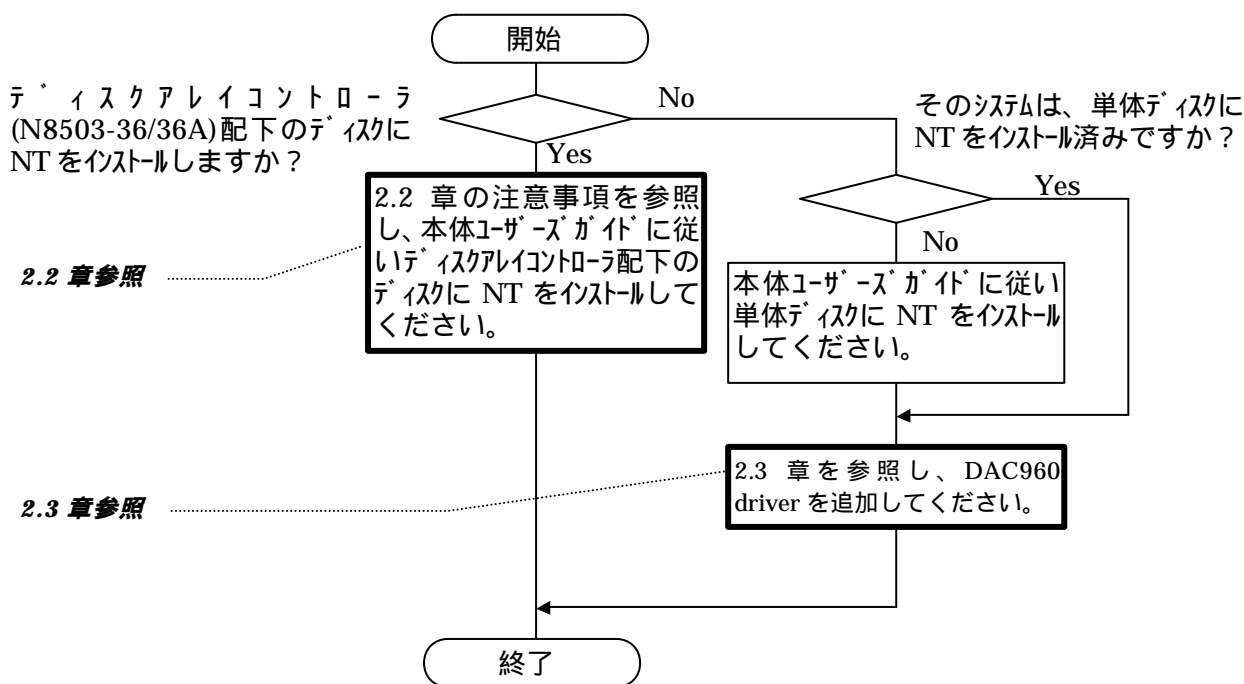
第2章 WindowsNT ドライバインストール手順

本章では、WindowsNT 4.0 のドライバインストールについて記述してあります。

WindowsNT 3.51 にて N8503-36/36A を御使用になる場合には、別途「WindowsNT Version 3.51 対応ドライバセット」が必要です。

WindowsNT 3.51 上でのインストール手順については、「WindowsNT Version 3.51 対応ドライバセット」に添付されている説明書を参照してください。

2.1 WindowsNT 4.0 ドライバインストール手順フローチャート



<WindowsNT インストール時の注意事項>

- ・システムドライブを複数作成せず、一つだけ作成してインストールを行ってください。
- ・複数のシステムドライブを作成する場合は、一旦インストールを行った後、コンフィギュレーションユーティリティを使用して、システムドライブを追加作成してください。
- ・2GBより大きいシステムドライブを作成すると、インストール時、2GBより大きいパーティションは作成できません。この場合は、インストール後に、ディスクアドミニストレータを使用して、パーティションを追加作成してください。

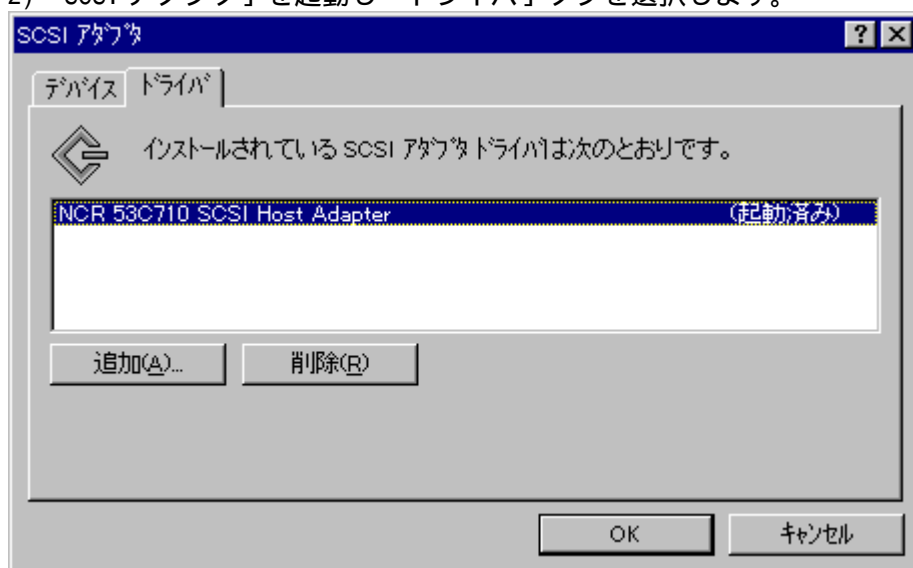
2.2 ディスクレイトラ配下に WindowsNT 4.0 をインストールする際の注意事項

本ディスクアレイにWindowsNTオペレーティングシステムをインストールする場合、必ず基本処理装置に添付された「ユーザズガイド」の説明にしたがって操作願います。

「ユーザズガイド」の説明と異なった操作を行った場合、インストールに失敗することがありますので御注意願います。

2.3 WindowsNT 4.0 インストール後にディスクレイトラを実装する場合

- 1) スタートメニューの「設定」にあるコントロールパネルを選択します。
- 2) 「SCSI アダプタ」を起動し「ドライバ」タブを選択します。



- 3) EXPRESSBUILDER より作成した「WindowsNT 4.0 OEM-FD for EXPRESSBUILDER」FD 媒体を FD ユニットに挿入します。
- 4) 「追加」をクリック後、右下の「ディスク使用」ボタンを選択し、「参照」ボタンで選択し、FD ユニットのパス("a:¥")を指定し、「Mylex DAC960 Disk Array Adapter」を選択します。
- 5) 「OK」をクリックすると、再度パスの入力要求が行われますので、"a:¥"を入力してください。DAC960 ドライバ(dac960nt.sys)が組み込まれます。
- 6) セットアップ終了後、置換したドライバを有効にするため、FD ユニットから FD 媒体を取り出し、システムを再立ち上げて下さい。

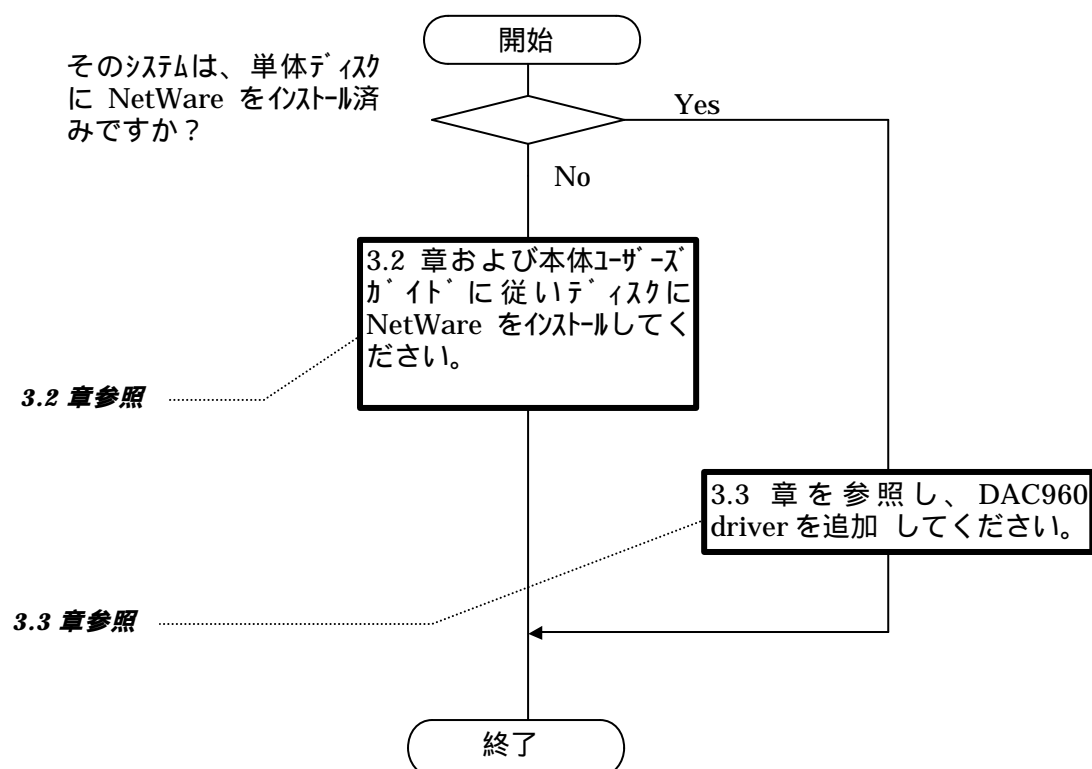
第3章 NetWare ドライバインストール手順

Express サーバ ディスクレスモデルで NetWare をご使用になる場合、サーバ装置添付の EXPRESSBUILDER CD-ROM が REVISION 019 以前の場合は本コントローラをサポートしていませんのでご注意ください。

EXPRESSBUILDER CD-ROM の REVISION と COMP が、下表中で本コントローラ対応済みの場合は、添付の「ユーティリティセットアップガイド」に従ってインストールしてください。コントローラ未対応の場合、および EXPRESSBUILDER を使用せずに添付の FD を使用したい場合は以降の手順を参照してください。

EXPRESSBUILDER CD-ROM	本コントローラ未対応	本コントローラ対応済み REVISION
REVISION: 021	COMP: A ~ C	COMP: D 以降
REVISION: 022	COMP: B	COMP: C 以降
REVISION: 025	COMP: A	COMP: B 以降

3.1 NetWare ドライバインストール手順フローチャート



3.2 ディスクアレイコントローラ用ドライバを新規にインストールする場合

- (1) 本体装置添付の「ユーザズガイド」に従って、インストールシステム(セットアップ用MS-DOS)のインストールを行う。
- (2) 「ユーザズガイド」に従って、Expressサーバ用NetWareドライバのインストールを行う。
- (3) FDドライブに、コントローラ添付の "DAC960 NetWare Drv/Ut1" FDを挿入し、ドライバファイルをコピーする。

NetWare 3.12Jの場合 COPY A:¥3X¥*. * C:¥SERVER.312 (SERVER.312はNetWareをインストールしたディレクトリ)
IntranetWareの場合 COPY A:¥4X¥*. * C:¥EXPNW411

- (4) 「ユーザズガイド」および「NetWareマニュアル」に従ってインストールプログラムを起動し、NetWareのインストールを行う。
- (5) NetWareインストール終了後、システム再起動する前にドライバおよびユーティリティを、本コントローラ添付の"DAC960 NetWare Drv/Ut1" FDからHDDにコピーする。

NetWare 3.12Jの場合 COPY A:¥3X¥*. * C:¥SERVER.312 (SERVER.312 は NetWare を インストール
 COPY A:¥UTL¥*. * C:¥SERVER.312 したディレクトリ)
IntranetWareの場合 COPY A:¥4X¥*. * C:¥NWSERVER (NWSERVER は NetWare を インストール
 COPY A:¥UTL¥*. * C:¥NWSERVER したディレクトリ)

3.3 NetWare をインストール済みのサーバにデータボリューム用として増設する場合

(1) NetWareサーバ起動前に、FDドライブにコントローラ添付の "DAC960 NetWare Drv/Util" FDを挿入し、ドライバファイルをコピーする。

NetWare 3.12Jの場合 COPY A:¥3X¥*. * C:¥SERVER.312 (SERVER.312はNetWareをインストールしたディレクトリ)
IntranetWareの場合 COPY A:¥4X¥*. * C:¥EXPNW411

(2) 「ユーザズガイド」および「NetWareマニュアル」に従って、ドライバのインストール(追加)および必要な設定変更を行う。

インストールするドライバ名 : EXDAC960.DSK
インストール元ディレクトリ : NetWare 3.12Jの場合 ... NetWareをインストールしたディレクトリ
IntranetWareの場合 ... C:¥EXPNW411

(3) NetWareインストール終了後、システム再起動する前にドライバおよびユーティリティを、本コントローラ添付の "DAC960 NetWare Drv/Util" FDからHDDにコピーする。

NetWare 3.12Jの場合 COPY A:¥3X¥*. * C:¥SERVER.312 (SERVER.312 は NetWare を インストール
COPY A:¥UTL¥*. * C:¥SERVER.312 したディレクトリ)
IntranetWareの場合 COPY A:¥4X¥*. * C:¥NWSERVER (NWSERVER は NetWare を インストール
COPY A:¥UTL¥*. * C:¥NWSERVER したディレクトリ)

< その他注意事項 >

旧ドライバ(EXPRESSBUILDER CD-ROM REV020 COMP:A)を使用してインストールを開始してしまった場合
旧ドライバを使用するとインストールを正常に行うことができません。
3.1に従ってインストールをやり直してください。